

## 高教組退職を祝う会

3月29日(金)、「高教組退職を祝う会」を開催しました。午前中は県民会館で県主催の退職教職員への感謝状贈呈式が行われ、その後、サンセール盛岡に場所を移して、高教組主催の「退職を祝う会」を行いました。参加者は58人でした。

記念撮影の後、小野寺委員長は「長い間お疲れ様でした。時代の変遷の中で教育も変わってきている。その時々適切に対応してこられた皆様方には頭が下がります。本日はそのご労苦を労う会です。」と挨拶し、守屋高退連会長、千葉進特別執行委員の祝辞の後、会食が始まりました。会食では和やかな雰囲気の中、思いついた話が花が咲きました。会の中程には、退職教職員を代表して、盛岡となん支援分会の主濱早子さんと、北上翔南高校分会の小野寺弘之さん、釜石祥雲支援分会の中村敏明さんの3人からスピーチを頂きました。引き続き再任用教職員として勤務される方も多く、また高退連に加入される方もいます。高教組、高退連に加入して、これからの「友愛と信義」の輪をつなげていきましょう。



### 盛岡となん支援分会 主濱 早子さん

37年程高教組にお世話になった。分会の先輩に色々なことを教えてもらった世代。採用された頃は職場に女性が少なく、今にして思えば、セクハラ、パワハラと思うこともなかったわけではない。今は大分働きやすい環境になってきているのではないかな。仕事の上では、共に頑張る仲間がいたことで救われた。この一年は女性部の常任をつとめ、最後の最後まで組合に関わった。このスピーチを頼まれた時も、「やっぱりか。」という思い。でもよい思い出がたくさんできた。これからは自由な時間を満喫したい。



### 北上翔南高校分会 小野寺 弘之さん

新採用の時、下宿先にある先輩がいた。新採用は一定の期間は運転しない方がよいという時代。朝晩の通勤時にはその方の車に乗せてもらって一緒に学校に行った。大変良い方だった。様々な事情により一年で下宿を移ったが、お世話になった。自分の組合活動の原点は、その方に誘われて、若い頃に行った「沖縄平和の旅」。実際に目で見て感じたことが、その後役に立った。そんな様々な人と人とのつながりで、これまでやって来れた。これからもそれを大事にしていって欲しい。



### 釜石祥雲支援分会 中村 敏明さん

運転士、ボイラー技士として長い間お世話になった。無事にこの日を迎えることができ、ホッとしているし皆さんに感謝している。職場では少数職種になるが、勤務条件や待遇改善に、高現組・高教組が一体となつてとりくんでもらった。後に続く人たちのために、今後とも高現組と高教組が連携して組合活動を盛り上げていって欲しい。



### おことわり

第1号は、喜怒哀楽・クイズを休みます。前回のクイズの答えはまだ受付けていますので、ご応募下さい。前回のクイズの当選者と喜怒哀楽は第2号に掲載します。